

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	3	議席 番号	15	氏名	遠 藤 英 明 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	統一的な基準による地方公会計の整備促進について富士宮市の活用の敷衍(ふえん)を伺う			(1) 統一的な基準による公会計の整備促進の趣旨は、資産債務改革や予算編成を含む行政改革に活用することである。これを可能とするためどのような方策をもって臨むのか。 ① 財政指標の設定、資産管理の活用をどのように図るのか。 ② 財務データを行政経営の全体像と環境分析のツールとしてどのように活用するのか。 ③ 事業別、施設別のセグメント分析をいかに図るか。 ④ 財務書類の情報開示をどのように行うのか。 ⑤ 資産の評価基準及び評価方法をどのように考えるか。 ⑥ 現金主義の欠点とは何か、それを補う発生主義が必要なわけは。 ⑦ 財務書類を予算編成・決算審査にどのように活用するのか。		市長 関係部長
2	県道大坂富士宮線と1級市道大塚弓沢線の交差点(通称よろづや交差点)の改良と信号機設置のその後の計画進捗について			(1) 平成14年2月、陳情後の経緯経過を伺う。 (2) 計画遅延の最大な要因は何か。 (3) 県が示された計画変更は考えているか。 (4) 今後の見通しを伺う。		市長 関係部長